

政 策 14

～環境にやさしい地域社会をつくれます～

後期基本計画における「めざそう値」等一覧

【めざしたい将来像】

地球温暖化防止を推進するため、行政と市民が一体となって、日常生活における省エネルギーを加速させるとともに、新エネルギーの導入に努めて、低炭素社会の基盤を作り上げます。また、市民・事業者及び市が協働して、資源の浪費とごみの排出を可能な限り少なくし、徹底した環境保全に努める社会「資源循環型社会」の構築をめざします。

指 標		21年度	22年度	25年度	27年度 現状値	28年度 (注1)	32年度 (注2)
温室効果ガス削減量(CO ₂ 換算)	めざそう値 (目標)	—	—	281,600t	—	352,400 t	446,800 t
	実績値	142,649 t	(1,849,000t) 温室効果ガス総 排出量(CO ₂ 換 算)(H18)	191,801t	239,730t		
廃棄物の最終処分量	めざそう値 (目標)	—	18,000 t	17,400t	—	14,000t	11,000t
	実績値	18,270t	17,733 t	19,851t	20,911 t		
二酸化窒素の環境基準達成率	めざそう値 (目標)	—	—	100%	—	100%	100%
	実績値	75%	100%	100%	100%		

(注1)平成28年度のめざそう値は、第5次実施計画でめざす目標値です。めざそう値(28年度)設定の考え方は、第5次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説によります。

(注2)平成32年度のめざそう値は、後期基本計画書に記載しているめざそう値を記入しております。その中で“(※)”の表記のあるものについては、第6次実施計画策定時に平成27年度の現状値などを踏まえ見直します。

政策14

環境にやさしい地域社会をつくります

1.環境にやさしい行動を促進します

1. 現況と課題

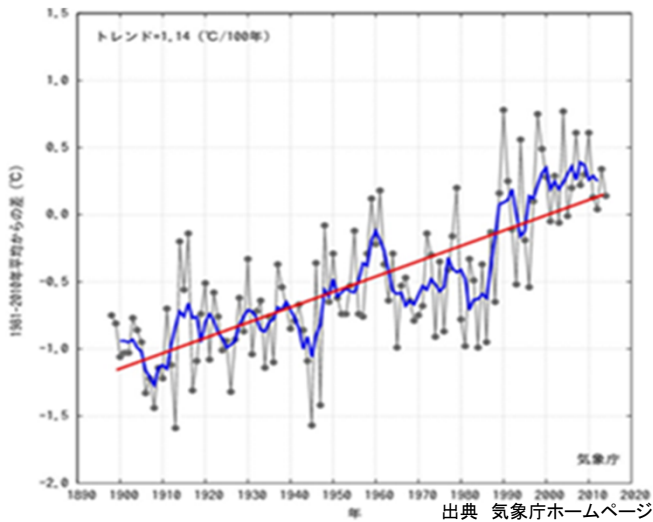
平成26年（2014年）の日本の年平均気温の平年差は+0.14℃で、長期的には100年あたり約1.14℃の割合で上昇しており、特に1990年代以降、高温となる年が頻出しています。地球温暖化は、私たち人間の生命や財産に甚大な被害をもたらし、生物を絶滅の危険にさらすなど環境に深刻な影響を及ぼします。この危機の解決を図るには、温室効果ガスの排出を抑えることが必要であり、省エネルギー機器の導入をはじめ、太陽光やバイオマス発電等の再生可能エネルギー及び家庭用燃料電池、クリーンエネルギー自動車やLED照明などをいっそう促進してまいります。

本市では、「松戸市地球温暖化対策実行計画」のもと、温室効果ガス排出量が増加傾向にある民生家庭、民生業務及び運輸部門への取組を推進するとともに水素社会実現への寄与や再生可能エネルギーの導入など地域資源を活かしたスマートシティを目指していきます。

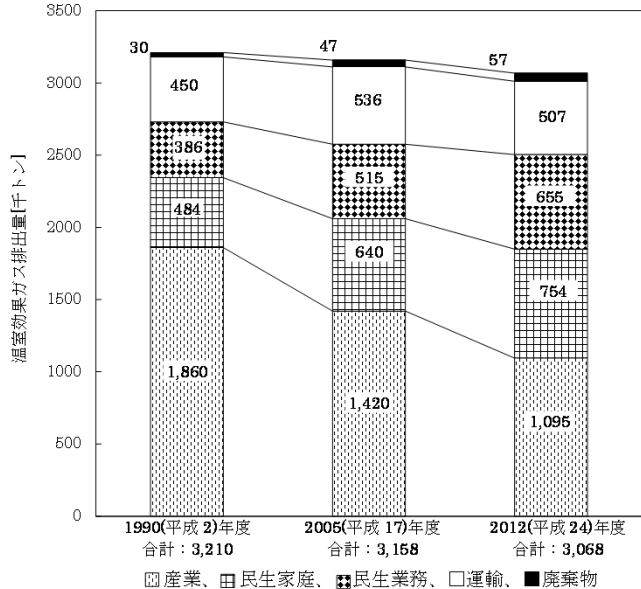
【特筆すべきニーズの変化】

- ① 一般的な家庭や事業者では、太陽光など再生可能エネルギーや省エネルギー設備導入の際に支援が必要と考えています（ニーズの増）
- ② 地球温暖化は問題だと考えている方が9割を占めており、何らかの取組みを行うべきとの考えが強くなっています（ニーズの増）

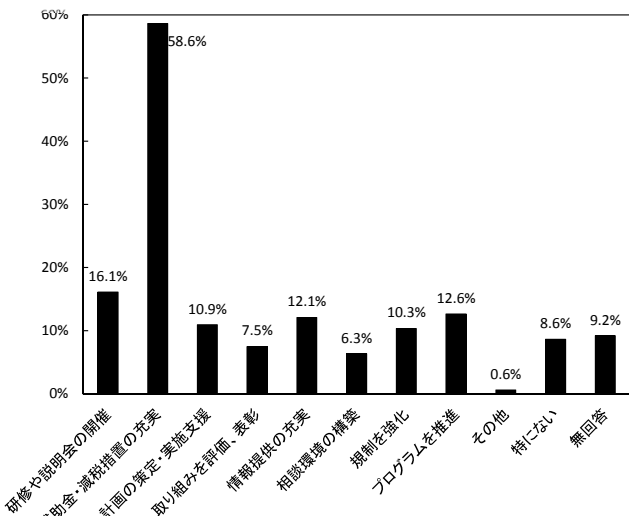
●日本の年平均気温平年差



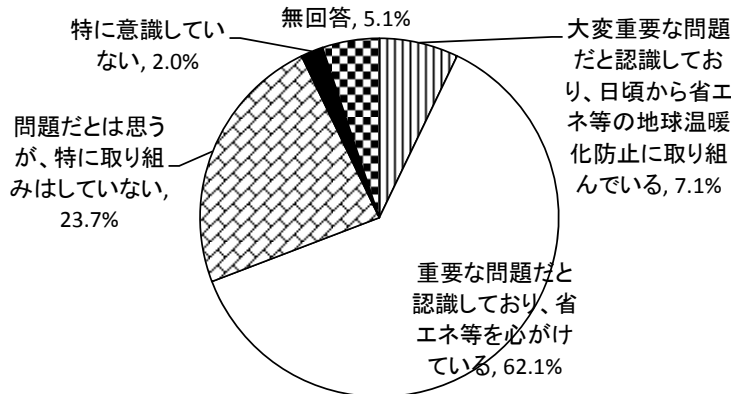
●松戸市における温室効果ガスの部門別排出量の推移



●温暖化対策の推進に関し、市に期待する施策



●地球温暖化問題について



2. 施策の展開方向

平成28年3月に策定した「松戸市地球温暖化対策実行計画」では本市における温室効果ガス排出量の現状及び将来推計から重点的に取組むべき項目として、民生家庭部門、民生業務部門、運輸部門及び環境に配慮したまちの四つの分野をあげて、地球温暖化対策を推進していきます。

- i. 民生家庭部門：温室効果ガス削減及び再生可能エネルギー導入支援を継続します。
- ii. 民生業務部門：最新の省エネ機器への切替えや見える化等の支援を強化します。
- iii. 運輸部門：クリーンエネルギー自動車及びエコステーションの普及を進めていきます。
- iv. 環境に配慮したまち：気候変動への適応を含めた環境に配慮したまちづくりや、水素社会の実現への寄与、再生可能エネルギーの導入など、地域資源を活かしたスマートシティを目指します。

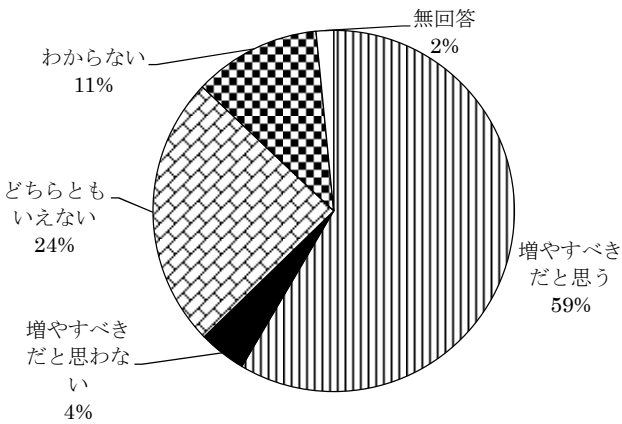
3. 施策を推進していく上での課題

地球温暖化の課題は、松戸市だけで解決できるものではないことから、広域的な視点に配慮し国や千葉県及び近隣市などと連携しながら施策を展開していく必要があります。したがって、計画期間中であっても市民ニーズの変化や環境審議会による答申等をふまえ、改定を行うなど柔軟な対応も必要とされます。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

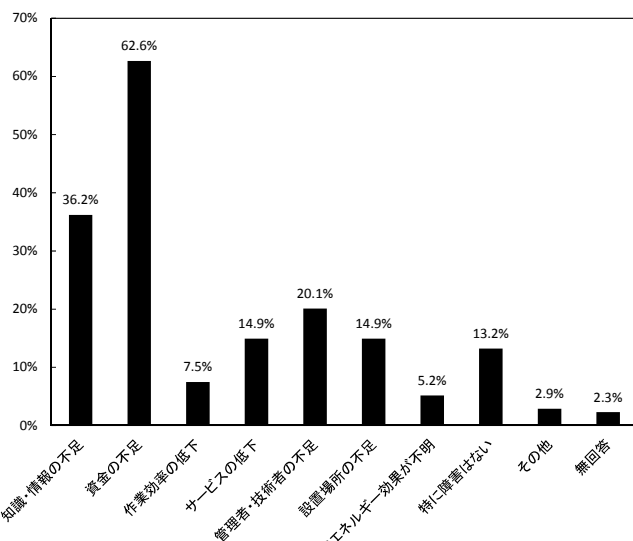
- ① 市民・事業者の地球温暖化問題への意識が高く、取組意欲が高いです（強み）
- ② 省エネルギー・再生可能エネルギー導入については懸念事項が先行し、機器の導入等には消極的な傾向がみられます（弱み）

●再生可能エネルギーについて



出典 H27 松戸市地球温暖化対策地域推進計画(松戸市減CO2大作戦)の進捗状況に関する市民アンケート

●地球温暖化対策や、省エネルギーの取り組みを実施するのに障害となるもの



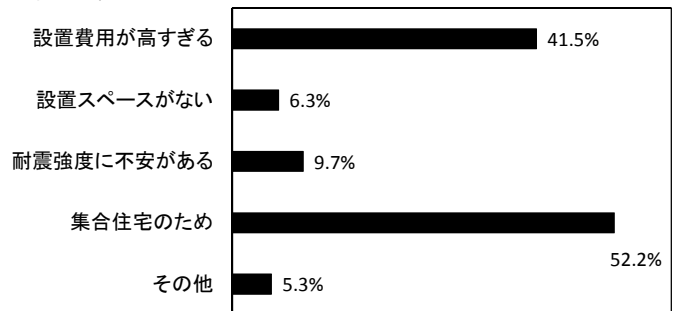
出典 H27 松戸市地球温暖化対策地域推進計画(松戸市減CO2大作戦)の進捗状況に関する事業所アンケート

●松戸市における温室効果ガス削減可能量と対策

部門	削減対策の内容	削減可能量[千トン]	
		2020年度	2030年度
産業	省エネ技術の導入推進	5	9
	機器導入等の推進	13	15
	小計	18	24
民生家庭	家電製品の効率改善	37	63
	家庭用照明機器の効率改善	19	33
	家庭用冷暖房機器の効率改善	7	22
	家庭用給湯機器の効率改善	37	45
	省エネナビ等の導入による省エネ推進	22	33
	住宅の断熱化	1	4
	住宅用太陽光発電の導入	22	52
小計	145	252	
民生業務	業務部門動力他の効率改善	16	36
	業務用照明機器の効率改善	27	36
	業務用空調機器の効率改善	16	31
	業務用給湯機器の効率改善	9	18
	BEMS等の導入による運用効率改善	13	25
	建築物の断熱化	13	22
小計	94	168	
運輸	自動車の燃料改善と次世代自動車の普及	25	25
	エコドライブの推進	13	13
	カーシェアリングの推進	1	1
	鉄道のエネルギー消費原単位改善	1	1
小計	40	40	
廃棄物	廃棄物の発生抑制	10	10
	小計	10	10
合計		307	494

出典 松戸市地球温暖化対策実行計画

●太陽光発電システムなど再生可能エネルギー設備を設置したいができない理由



出典 H27 松戸市地球温暖化対策地域推進計画(松戸市減CO2大作戦)の進捗状況に関する市民アンケート

政策14

環境にやさしい地域社会をつくります

2. 廃棄物による環境負荷を減らします

1. 現況と課題

本市においては、市民一人一日当たりのごみ排出量（集団回収分除く）は、平成12年度の913.5gをピークに平成26年度には749.3gになっています。

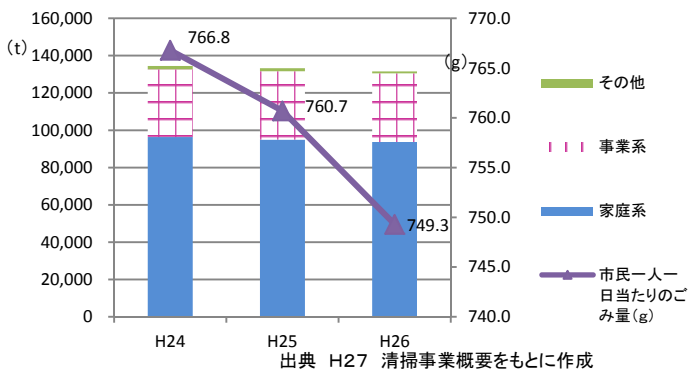
本市で発生したごみは、2ヶ所の焼却処理施設（クリーンセンター、和名ヶ谷クリーンセンター）、1ヶ所の資源化処理施設（資源リサイクルセンター）、1ヶ所の粗大ごみ圧縮処理施設（日暮クリーンセンター）で処理されています。最終処分については、市内に最終処分場を確保することが困難な状況にあることから、そのほぼ全量を市外の民間事業者に委ねているのが現状です。

今後も、ごみの排出抑制、循環的利用、適正な処理処分を確保するため、リデュース（ごみの発生を減らす）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）といった3R施策のより一層の推進が必要となっています。

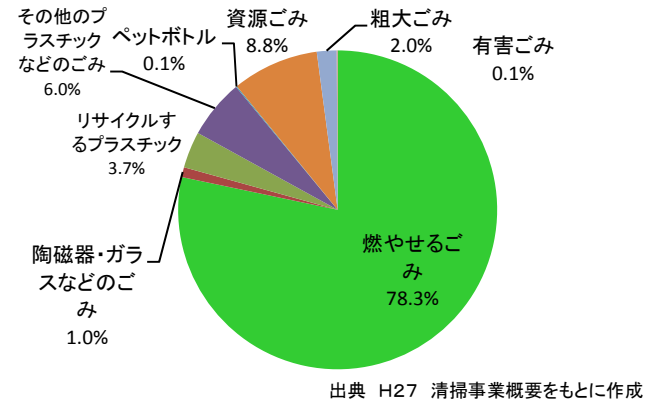
【特筆すべきニーズの変化】

- ① 資源の循環的利用を基調とした社会全体での仕組みづくりが必要とされています（ニーズの増）
- ② 資源循環型社会の構築に向けた取り組みについては、3R施策の推進が重要であると考えられています（ニーズの増）

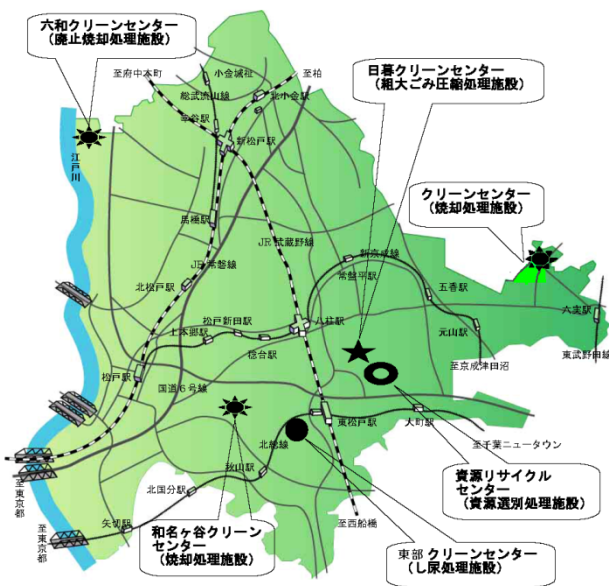
●松戸市のごみ排出量の推移



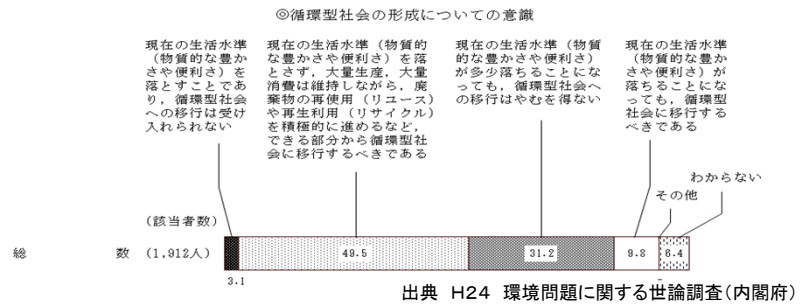
●松戸市のごみの種類別内訳(平成26年度)



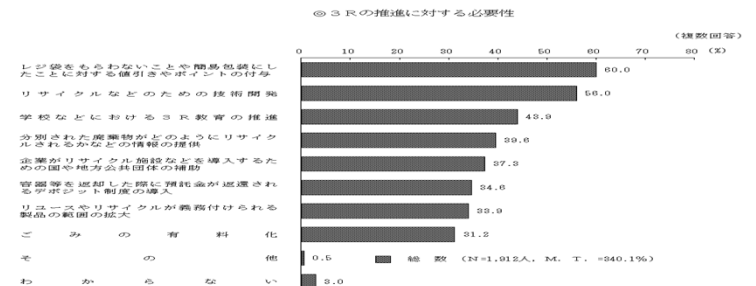
●松戸市のごみ処理施設等の配置状況



●循環型社会の形成についての意識



●3Rの推進に対する必要性



2. 施策の展開方向

資源循環型社会を構築していく上での基盤となる3R施策を、市民の発意と協働を基本として推進していきます。ごみ減量に向け市民・事業者の自主的な取り組みの推進、資源化の促進や生ごみ処理容器購入費の補助、集団回収活動への支援等を行うなど、ごみの減量・資源化を推進していきます。収集については、常に最適な収集体制の構築を図っていきます。処理施設の整備については、計画的に必要な整備を行うことで、排出されるごみの適正処理を推進していきます。

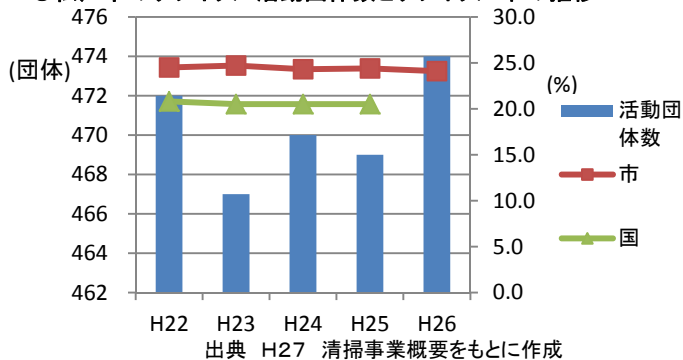
3. 施策を推進していく上での課題

排出者（個人・事業者）のごみ排出に対する意識の向上と市内の廃棄物処理施設の効率的な処理体制の確立が課題となっています。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

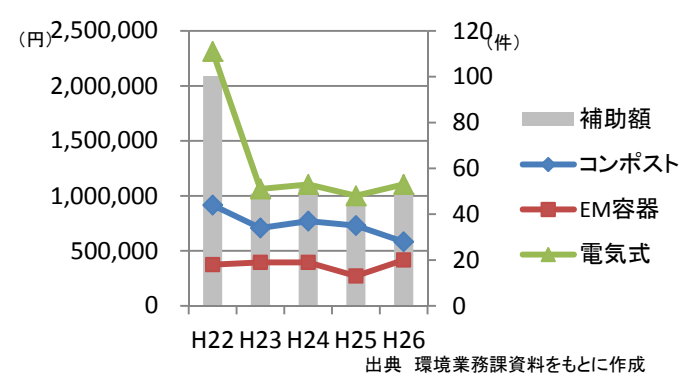
- ① 1人1日当たりのごみ排出量が少ないこと等から、ごみに関する市民意識が高いと考えられます（強み）
- ② ごみ処理施設が老朽化しているため、施設の処理能力の低下が懸念されています（弱み）

●松戸市のリサイクル活動団体数とリサイクル率の推移

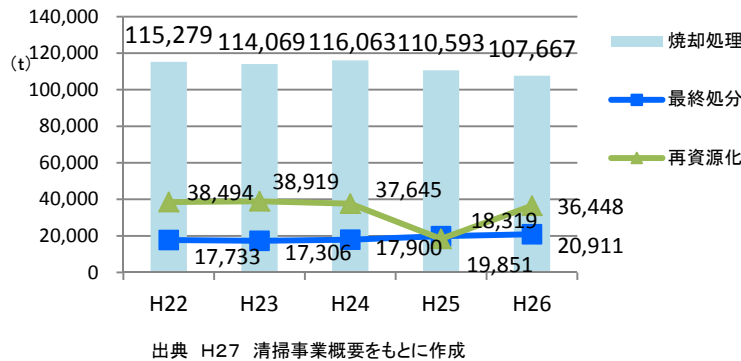


※H26全国平均は集計中

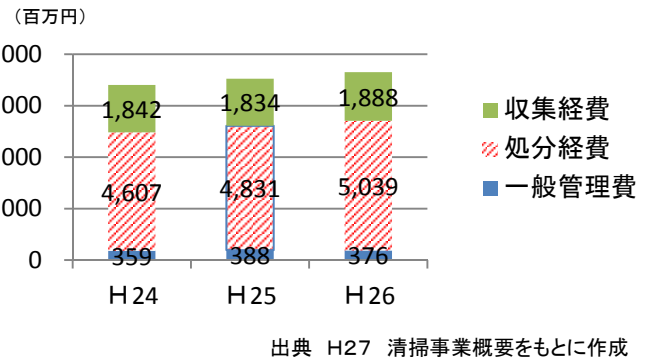
●松戸市の生ごみ処理容器等の補助金申請件数の推移



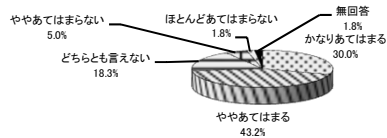
●松戸市のごみ処理量等の推移



●松戸市のごみ処理経費の推移



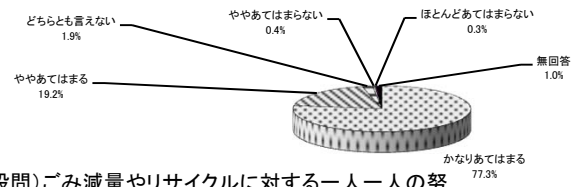
●ごみ問題に関する松戸市民の関心度



(設問)さまざまな環境問題の中でも、特にごみ問題には関心があるとの考えにどの程度あてはまるか？

出典 H15 ごみに関する市民の意識等に関するアンケート調査(環境計画課資料)をもとに作成

●ごみ減量などに関する松戸市民の考え



(設問)ごみ減量やリサイクルに対する一人一人の努力が地球全体の環境保全につながるの考えにどの程度あてはまるか？

●近隣市比較 1人1日当たりのごみ排出量(g)とリサイクル率(平成26年度)

市	1日1人当たり排出量(g)	リサイクル率(%)
松戸市	749	24.1
船橋市	920	19.5
市川市	828	17.8
柏市	892	22.8

出典 関係市ホームページ及び本市清掃事業概要をもとに作成

●近隣市比較 ごみ焼却施設の状況

市	施設数	稼働年	処理能力
松戸市	2	S55	200t/24h(100t/24h×2基)
		H7	300t/24h(100t/24h×3基)
船橋市	2	H1	375t/日(125t/日×3基)
		H4	435t/日(145t/日×3基)
市川市	1	H6	600t/24h(200t/24h×3基)
		H3	300t/24h(100t/24h×3基)
柏市	3	H12	256.5t/24h(85.5t/24h×3基)
		H17	250t/24h(125t/24h×2基)

出典 関係市HP及び本市清掃事業概要をもとに作成

政策14

環境にやさしい地域社会をつくります

3.大気汚染に係る物質を減らします

1. 現況と課題

大気汚染は、主に工場・事業場等から排出されるばい煙や自動車の排出ガス等によって引き起こされます。汚染物質のうち二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質は、平成26年度の測定結果では、すべての局で環境基準を達成しました。光化学オキシダントはすべての局で環境基準が未達成となりました。

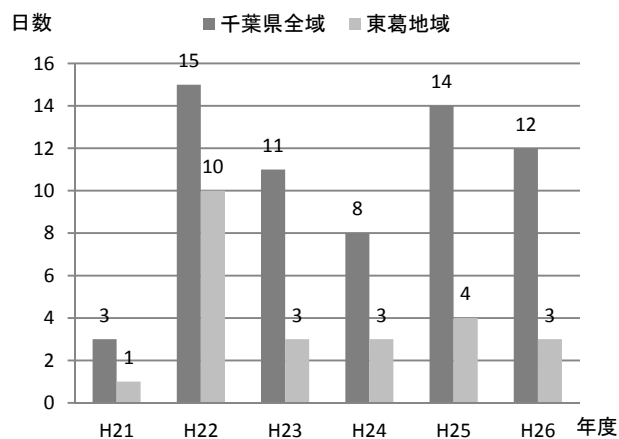
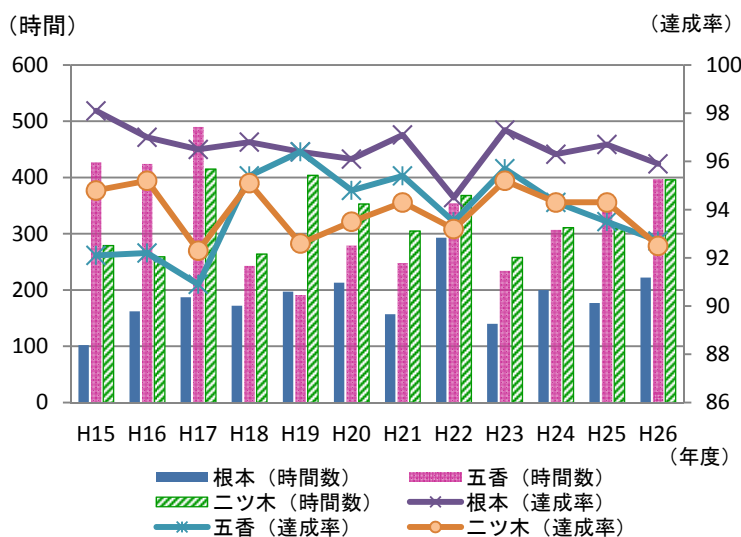
大気環境は気象の状態に左右されることもあり、長期的に地域の傾向を見ていく必要があります。

【特筆すべきニーズの変化】

- ① 環境にやさしい車の普及の推進が求められています（ニーズの増）
- ② 一人ひとりが取り組める大気環境にやさしい運転についての普及が求められています（ニーズの増）

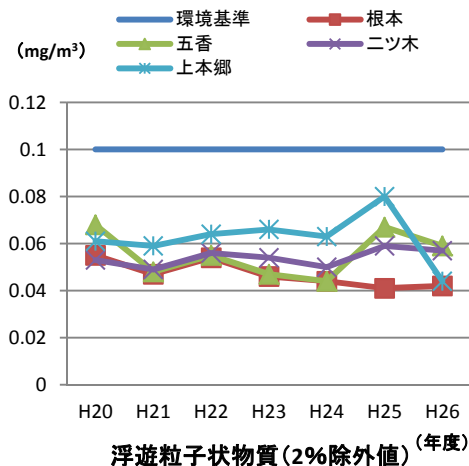
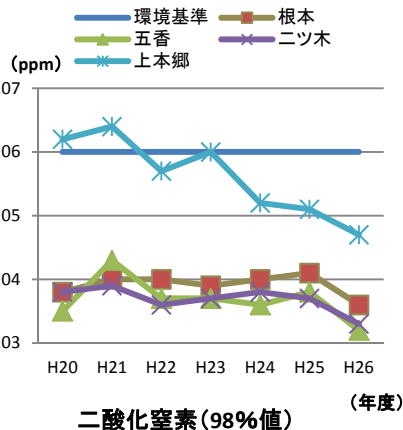
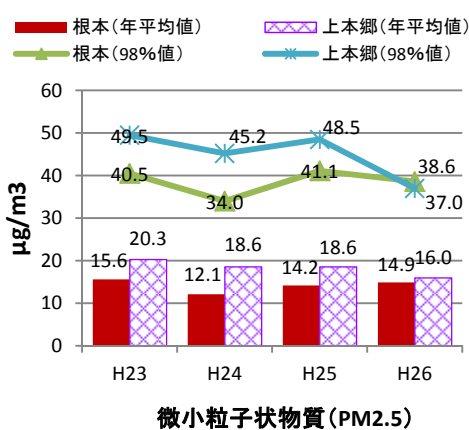
●松戸市内の光化学オキシダントの経年変化
(昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数及び達成率)

●光化学スモッグ注意報発令日数の推移
(平成19年度以降東葛地域は松戸市該当発令日数)



出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)をもとに作成

●松戸市内の大気汚染物質の経年変化と環境基準



2. 施策の展開方向

大気汚染を監視することによって、大気環境の把握に努めるとともに、大気汚染対策の一環として、低公害車の普及促進を図ります。

環境意識向上のため、大気保全の大切さや、環境に配慮した生活と行動のあり方などについて考える機会をつくり、市民への啓発活動に努めます。

3. 施策を推進していく上での課題

大気汚染物質は広域的なものであるため、今後も国、県と連携して監視を継続していく必要があります。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ・大気汚染の状況を把握するため一般環境測定局3局、自動車排出ガス測定局1局を設置しています(強み)

●松戸市の大気汚染監視測定局



出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)

●各測定局における大気汚染測定機器等の設置状況

測定局名	測定項目								
	二酸化硫黄	物質 浮遊粒子状	オキシダント	窒素酸化物	炭化水素	一酸化炭素	風向・風速	日射・湿度 雨量	微小粒子状物 (PM _{2.5})
根本	○	○	○	○	○		○	○	○
五香	○	○	○	○	○		○		
二ツ木	○	○	○	○			○		
上本郷		○		○		○	○		○

※上本郷局は自動車排出ガス測定局

項目	概要	環境上の条件
二酸化硫黄	主に硫黄を含む化石燃料を燃焼することにより発生するもの。	1時間値の1日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1時間値が 0.1ppm 以下であること。
一酸化炭素	燃料等の不完全燃焼により生じ、自動車が主な発生源とされている。健康へ影響を及ぼすほか、温室効果のあるメタン(CH ₄)の寿命を長くするものとされ、規制が行われている。 出典: 環境省HP http://www.env.go.jp/policy/assess/6term/	1時間値の1日平均値が 10ppm 以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が 20ppm 以下であること。
浮遊粒子状物質	工場などから排出されるほか、自動車によるものや道路に起因するもの、土壌の飛散など自然発生源によるものがある。	1時間値の1日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であること。
二酸化窒素	空気中または燃料の中に含まれている窒素が、燃焼の際に酸素と結合し、主として一酸化窒素が発生し、大気中で酸化されていく過程で生成される。工場・事業所のほか、自動車からも多く排出される。	1時間値の1日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
光化学オキシダント	光化学スモッグの原因となる大気中の酸化性物質の総称。	1時間値が 0.06ppm 以下であること。
微小粒子状物質(PM _{2.5})	微小粒子物質は大気中に浮遊する粒の大きさが $2.5\mu\text{m}$ 以下の粒子。自動車の排出ガス、道路からのほこりの巻き上げ、工場の煙や黄砂などに含まれている。	1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)をもとに作成

●松戸市の電気自動車

大気汚染対策や低公害車の普及促進、市民への啓発の一環として、松戸市では低公害車を導入しています。



●千葉県内の自動車NOx・PM法対策地域(16市の区域)



ディーゼル車から排出される割合が高い窒素酸化物(NO_x)及び粒子状物質(PM)による大気汚染が問題となっています。

出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)

政策14

環境にやさしい地域社会をつくります

4.生活上の不快要因を減らします

1. 現況と課題

本市の公害苦情は、騒音・振動・悪臭・大気汚染・水質汚染・土壌汚染・地盤沈下・その他（光害等）の8つに分類していますが、平成26年度の苦情の半数近くが騒音に関するものです。近年、法や条例の規制や指導要綱の適用を受けない苦情の比率が増えてきています。

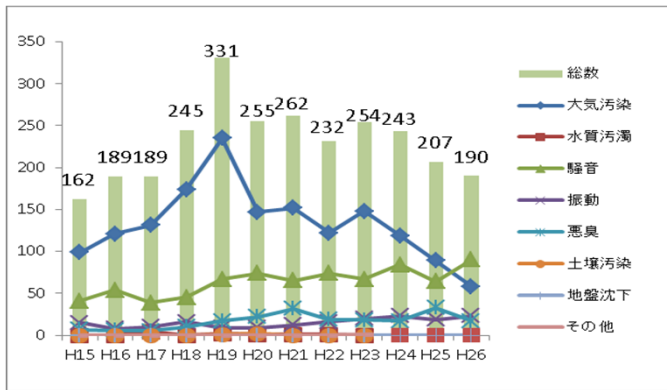
なお、平成26年度に4地点で実施した自動車騒音の測定結果では、国道6号で自動車騒音要請限度を超える結果となっています。

一方、公衆衛生上の観点からは、最近、あき地の雑草除去、公共下水溝等の衛生害虫、犬や猫に係る苦情などがあります。

【特筆すべきニーズの変化】

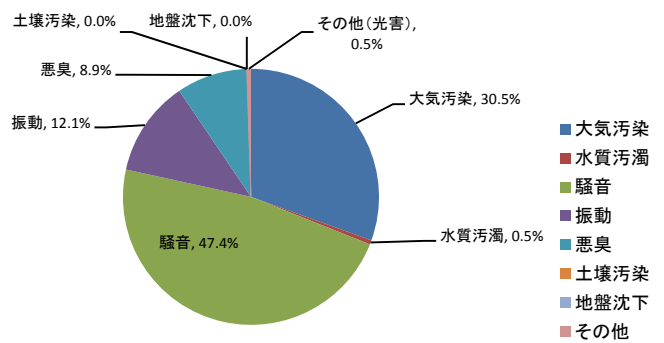
- ・自分の生活に係る他からの生活上の不快要因に関しては、民事的な事項が含まれているとしても、その解決を行政に求める傾向にあります（ニーズの増）

●公害の種類別苦情受付件数の推移



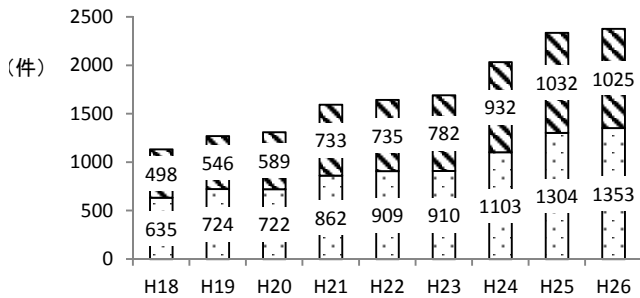
出典 環境の現状と対策（環境保全課資料）をもとに作成

●松戸市内の公害苦情の種別割合（平成26年度）



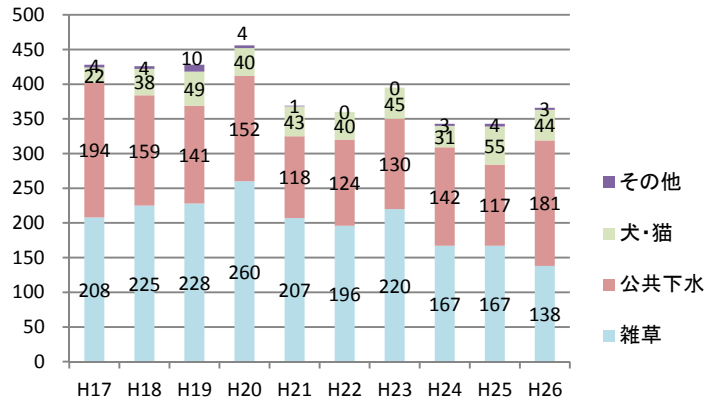
出典 環境の現状と対策（環境保全課資料）をもとに作成

●松戸市内の騒音・振動に関する特定建設作業の届出の推移



出典 環境の現状と対策（環境保全課資料）をもとに作成

●松戸市内の環境衛生に関する苦情の推移



出典 環境の現状と対策（環境保全課資料）をもとに作成

●環境保全等に関する松戸市民の意識

項目	年度	十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない	無回答
ケ 緑地・河川などの自然環境	平成27年度（今回）	2.6	18.9	47.8	15.2	5.5	6	3.9
	平成25年度（前回）	2.1	16.7	48.5	16.3	5.3	5.9	5.1
	平成24年度	2.9	19.1	45.6	17.8	5.1	5.5	3.9
	平成22年度	2.6	18	46.9	17.9	6.3	4.1	4.2
コ 空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ	平成27年度（今回）	2.8	22.3	47.7	15.9	4.9	3	3.4
	平成25年度（前回）	2.3	18.7	46.9	18.4	7	3	3.8
	平成24年度	2.6	17.1	45.8	20.5	8.2	3.1	2.7
	平成22年度	2.4	16.8	43.5	23.8	8.8	2.1	2.6

出典：松戸市市民意識調査（平成27年度）

2. 施策の展開方向

市内幹線道路沿道の騒音、振動の状況を把握するため、自動車騒音及び道路交通振動の測定を行います。公害苦情対策の一つとして、市民、事業者向けのごみ焼却行為禁止のパンフレットを作成するなど啓発及び各部署との連携に努めます。

松戸の良さの一つとして、音環境を保全するため、心地よい音を残す啓発活動に努めます。

また、犬や猫に起因する不快要因を減らすことに努めます。

3. 施策を推進していく上での課題

関係法令による規制指導の継続とともに各種調査によって現状把握を行い、市民や事業者に対して環境対策に関する事項や規制内容、マナー向上についての情報提供に努めます。

また、飼い主のいない猫を減らす必要があります。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 将来に残していきたい音の聞こえる環境があります（強み）
- ② 飼い主のいない猫にボランティア活動で不妊・去勢手術を行う市民がいます（強み）

●自動車騒音要請限度に基づく松戸市内の測定結果(平成26年度) (単位:デシベル)

路線名	測定場所	用途地域	車線数	要請限度		測定値	
				昼間	夜間	昼間	夜間
国道6号線	松戸	準住居	4	75	70	73	73
	上本郷	商業	4	75	70	72	71
	二ツ木	準住居	4	75	70	75	75
主要地方道 市川松戸線	上矢切	2種住居	2	75	70	67	64

※調査期間H26. 12. 2～12. 25

※調査地点は、原則として道路境界

※測定値は、平日連続3日間の等価騒音レベル

※測定値が斜体文字は、要請限度を超過した値

※要請限度とは、自動車騒音で道路の周辺の生活環境が著しく損なわれていると認められるときに、市町村長が県公安委員会に道路交通法の規定による措置を執るよう要請する際の限度をいう

出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)をもとに作成

●ペットのマナー向上啓発看板

みられてますよ！あなたのマナー



トイレはおうちですませてね

松まつとし

出典 環境保全課資料

●市民向け及び事業者向けのごみ焼却行為禁止のパンフレット

市民の皆さまへ

焼却による煙や臭いにより、洗濯物に臭いが付く・窓が開けられない等、ご近所の迷惑になります。ゴミの焼却は法律によって**禁止**されていますので行わず、市の収集に出すようお願い致します。

根拠法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第16条の2

なお、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第16条の2に違反した焼却については罰則規定があります。

根拠法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第25条

焼却禁止の例外としては、風俗慣習上の行事を行うために必要な場合や農業を営む場合などその他政令で定めるものがあります。

根拠法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第16条の2

問合せ先

松戸市 環境部
環境保全課 大気騒音係
TEL: 366-7337(直通)

出典 環境保全課資料

事業者の皆さんへ

焼却による煙や臭いにより、洗濯物に臭いが付く・窓が開けられない等、ご近所の迷惑になります。ゴミの焼却は法律によって**禁止**されています。

根拠法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第16条の2

なお、違反しますと『五年以下の懲役もしくは一千万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する』となります。

根拠法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第25条

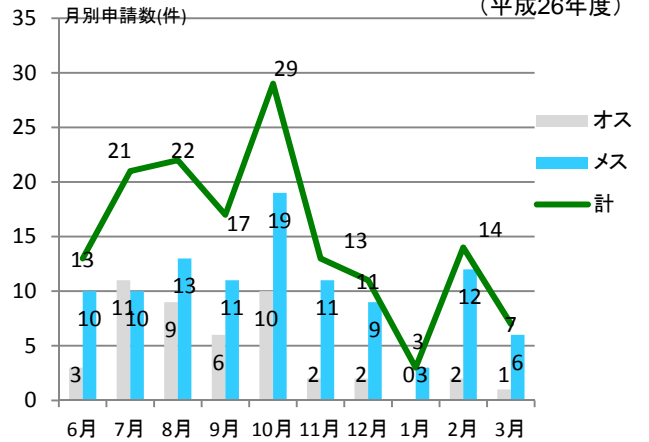
焼却禁止の例外としては、風俗慣習上の行事を行うために必要な場合や農業を営む場合などその他政令で定めるものがあります。

根拠法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第16条の2

問合せ先

松戸市 環境部
環境保全課 大気騒音係
TEL: 366-7337(直通)

●飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金申請状況 (平成26年度)



出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)をもとに作成

●千葉県内の“日本の音風景100選”認定一覧

柴又帝釈天界限と矢切の渡し 松戸市／東京都葛飾区	柴又帝釈天界限は、昔ながらの商店や参拝客の賑わいがある。江戸川に出ると川面を渡る手漕ぎの舟やヒバリ、ユリカモメの声を聞くことができる。
種橋の落水 佐原市(現：香取市)	伊能忠敬旧宅内の用水路から水を落とす種橋を復元したもの。落水は30分間隔で1日15回行われ、その水音にちなみ「じゃあじゃあ橋」と呼ばれる。市民ぐるみの町並み保全活動がある。
麻綿原のヒメハルゼミ 大多喜町	麻綿原一帯は、ヒメハルゼミの優れた生息地。合唱が好きなこの蝉は、数匹が鳴き始めると、山全体が震えるように一斉にジャージャーと鳴き始め、しばらくすると一斉に鳴き止む。

出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)

●矢切の渡しの風景

手漕ぎの船やヒバリ、ユリカモメの声を聞くことができます



出典 本市ホームページ